

緑育会通信 第13号

～心には癖がある～



昨年6月に文部科学省より発表された「大学改革実行プラン」をご存知だろうか。大学改革実行プランは、「日本が直面する課題や将来想定される状況をもとに、目指すべき社会、求められる人材像・目指すべき新しい

大学像を念頭におきながら、大学改革の方向性」をまとめたものである。大学改革実行プランは8つの基本的な方向性から構成されている。その最初に掲げられた方向性が「大学教育の質的転換、大学入試改革」であり、ここでは「学修時間」を増やすことが重要視されている（文部科学省や中央教育審議会の文書中では、おそらく単に「習う」のではなく「自分のものにする（修める）」ということを強調して、一貫して学修と表記されている）。「学修時間」が強調されるのには理由がある。国際的にみて日本の大学生の学修時間が短いことが、各種の調査を通じて、繰り返し指摘されているのである。残念ながら東京家政大学の学生も例外ではない（もちろん、個別にはとても意欲的な学生も少なくない。念のため）。また、ベネッセ教育研究開発センターの調査によれば、従来は大学生よりよく勉強するといわれていた高校生についても、最近の15年間で、学力中間層の勉強時間がほぼ半分減っているという。

学生たちの主体的な学びを促し、学修時間を増やすにはどうしたらよいのだろうか。ただむやみに「勉強しよう」と掛け声をかけても、言われた方が急に学び始めるとは思えない。大学の授業に対する学生アンケートでは、わかりやすい授業の人気の高いが、「わかりやすい授業」＝「やる気を喚起される授業」とは、かならずしも言えない。多くの課題を課して強制的に勉強時間が増やすことはできるかもしれない。しかし、強制されて嫌々（あるいは形だけ）勉強したのでは、学びの意義は限定的なものになるだろう。また、「勉強したら将来役に立つ」などと論理的に説得しても、素直にやる気を出す学生ばかりではないだろう。問題の解決が一筋縄ではいか

井上俊哉教授（東京家政大学人文学部長）

ないだろうことは、容易に想像がつく。わが身を振り返って見ても、やらねばならない状況で、頭ではわかっているけど行動を起こせなかった経験を、いくらでも思い起こすことができる。消極的な学生あるいは自分を、能動的、積極的な行動者へと変身させることはできるのか、できるとすればどうすればよいのか。いろいろな側面・観点からのアプローチがありうるし、必要だろう。私自身が魅力を感じるのは、心理学からのアプローチである。私は学生時代に教育心理学を専攻し、心理学を少々齧っている。しかし、迷い多い学生であったため十分に学んだとはいえず（悔いが残る）、統計学に近い領域に専門を変えたため、心理学そのものから少し離れていた。しかし、この一二年、心理学関連の本を何冊か読み、心と行動の関係に関して心理学が多くのヒントを与えてくれることを再発見しつつある。人は、「自分のことは自分が一番よくわかっている」「行動を決めるのはその人自身だ」「行動を起こさないのは、その人にやる気がないからだ」などと考えがちである。しかし、多くの心理学研究が示すところでは、人は、一般に想像される以上に、意識的なコントロールを超えた要因に影響されているようである。脳科学者・池谷裕二氏の著作も興味深く最近読み直しているのだが、氏の著書の名（『脳には妙なクセがある』）を借りるならば、「心には癖がある」。どんな場面で、何に対して意欲的に行動するのか、あるいはしないのかは、心の癖で説明できる部分が小さくなさそうである。やる気がでないことや行動できないことを責めたり諦めたりするのではなく、心の癖を認めた上で対策を講じることで、できる学生（自分）に変えることが可能なのではないか、というのが私の夢想である。

現代の心理学で未解明の問題も無数に残されているし、知見を単純に応用できるものでもない。そもそも心理学をちょっと学んだくらいで、人の行動を変えられると思うのは思い上がりには違いない。しかし、教育に携わる者ひとりひとりが心の癖に関心を向けること、学ぶことの意味は小さくないと思っている。

(2013.1.20)

【目次】

～心には癖がある～	井上俊哉教授（東京家政大学人文学部長）	-----	1	
平成25年度免許状更新講習のご案内	免許状更新講習実施委員会	青木幸子教授	-----	2
アドバイスコーナー	栄養科講師	塩入輝恵	-----	3
教材情報	服飾美術学科教授	山田民子	-----	4
教育時流	教育養成教育推進室室長	青木幸子教授	-----	5
お知らせ「第21回（平成25年度）教員対象講習会」			-----	5
緑育会事務局からのお知らせ			-----	6

平成 25 年度免許状更新講習のご案内



免許状更新講習実施委員会

教育・企画検討部門グループ代表 青木幸子教授

平成 24 年度の免許状更新講習に多くの卒業生の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。例年、講習終了後、実施委員会を開き、講習に対する事後アンケートを踏まえ反省と次年度に向けての改善策を検討しております。その結果、平成 25 年度は講習内容、受講定員、受講申し込み方法等において大幅な見直しを行いましたので、その概要をお知らせいたします。なお、詳細は、ホームページ上にてご確認ください。

<平成 25 年度講習に当たっての変更点>

1. 講習日程

講習期間は、8月16日(金)、17日(土)、19日(月)、20日(火)、21日(水)の5日間です。

2. 講習内容および会場

講習は、「教育の最新事情」(必修・12時間)と「教科指導、生徒指導その他の教育内容の充実に関する事項」(選択・18時間)の2領域とも開講します。

必修領域である「教育の最新事情」は、板橋校舎のみでの開講となります。狭山校舎は新設学部の開校に向けた改修工事のため、平成 25 年度は閉講となります。

選択領域のうち「科学と人間生活」(18時間)に替えて「理科教育」関連の講座(6時間ずつ3講座)を開講します。その他は変更ありません。

3. 時間数

選択領域の各講座は18時間で開講してきましたが、理科教育関係の講座、小学校教諭対象の「外国語活動指導のための理論と実践」は6時間ずつの開講となりますので、ご注意ください。

4. 定員

参加者の皆様のご要望を踏まえて、各講座とも定員増の見直しを行いました。しかし、パソコン関連、実技を伴う講座など

設備等の関係で止むを得ず定員を限定させていただく講座もあります。

5. 受講申し込み方法

①Web 登録

本通信第 12 号に紹介しましたとおり、平成 24 年度更新講習終了後のアンケートでもっともご要望の多かった講習の申し込み・受付方法について、大幅な見直しを行いました。

FAX・郵送での先着順の受付方法を、Web 登録・郵送の受付に変更しました。

登録フォームに必要事項を漏れなくご記入の上、送信してください。登録されたアドレスに自動で受け付けたことをお知らせするメールが送信されます。

②受付期間の短縮および追加募集

受付期間は、一週間です。期間内であれば、受講希望書は、すべて受け付けます。定員を超えた場合には抽選を行います。また、定員に満たなかった場合には、追加募集をします。追加募集の期間も一週間です。定員が 5 名に満たない講座は開講しません。

③受講者へのお願い

受講者の中には、複数の機関に受講申し込みをされており、講習間際になって不参加の意思表示をされる方がおります。参加したくても定員オーバーで参加を見送られた方もおられることに配慮し、辞退する場合には速やかに手続きをしてください。

皆様から寄せられたご意見を踏まえながら、平成 25 年度の実施計画を立てました。夏の暑い期間ですが、私たち教職員一同、快適な空間で魅力的な講座を提供できるよう今後とも努力していきます。どうぞ今年の夏も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第 5 回 (平成 25 年度) 免許状更新講習の開催について

平成 25 年 8 月 16 日 (金)、17 日 (土)、19 日 (月)、20 日 (火)、21 日 (水) に、板橋キャンパスにて、以下のとおり免許状更新講習を開催予定です。【文部科学省認定申請中】

内容・申込等の詳細については、文部科学省から認定を受けた後、3 月下旬にホームページで広報いたします。

領域	免許状更新講習の名称	開催日 時間数	会場：定員	受講対象者
必修	教育の最新事情	8/16, 17 計 12 時間	板橋：100 名	全教諭
選択	はじめてのマルチメディア教材作成	8/19 計 6 時間	板橋：10 名	家庭科・理科教諭
	情報機器の高度利用	8/21 計 6 時間	板橋：10 名	家庭科・理科教諭
	中学校高等学校理科の生命分野新単元	8/19 計 6 時間	板橋：20 名	中・高 理科教諭
	化学ってどんな科学	8/20 計 6 時間	板橋：20 名	中・高 理科教諭
	小学校理科の新単元	8/21 計 6 時間	板橋：20 名	小学校教諭
	家庭科の授業づくりと教材化の視点	8/19, 20, 21 計 18 時間	板橋：60 名	小・中・高・特別支援学校 家庭科教諭
	小学校教諭実践講座	8/19, 20, 21 計 18 時間	板橋：35 名	小学校教諭
	保育のリフレッシュとスキル・アップ講座	8/19, 20, 21 計 18 時間	板橋：40 名	幼稚園教諭
	多様な美術表現の実践	8/19, 20, 21 計 18 時間	板橋：15 名	小・中・高・特別支援学校美術科教諭
	「外国語活動」指導のための理論と実践	8/20 計 6 時間	板橋：20 名	小学校教諭
最新の英語科教育法の理論と実践	8/19, 20, 21 計 18 時間	板橋：30 名	中・高 英語科教諭	

アドバイスコナー



未来の大人を健全に育む「食育の推進」

栄養科講師 塩入輝恵

「生きていること」と「人間らしさ」

遺伝子の解明や ips 細胞（人工多機能性幹細胞）の開発など、最近の科学技術の進歩はめざましく驚くばかりです。

よりよく生きるための手段や快適に生活するための環境を求め、人は努力を惜しむことなく常に進歩しており、そこに人の無限な欲望さえ感じます。

また、人は科学技術の進歩により変化した環境や状態の日常の中で、とても重要で不易な事象の根本を忘れて無意識に生活していることは少なくありません。その根本とは、「生きていること」ではないかと考えます。さらに「生きていること」を「生命をもって行動すること」と解釈するならば、生きていくにはその行動のあらゆる場面を想定し、起こりうる事象への対処準備が必要となります。人の行動には間違いや失敗がつきものです。人はこの経験を繰り返しながら、同時に生命の危機を回避するための方法を優先して考え、そのための研究開発に努力を積み重ねてきたように思います。この行動こそが「人間らしさ」と捉えております。

「食」の重要性

昨年 12 月 20 日、学校教育現場で、小学 5 年生女子児童が食物アレルギー・アナフィラキシーショックに陥り、生命を失うという、大変痛ましい事故が起きてしまいました。

報道によると、事故があった学校では自校方式（調理場設置）による給食が実施されており、食物アレルギー児童対応も十分に行われていたとのこと。事故当日も給食室ではアレルギー原因食品を除去し、他児童とは別に調理員が直接配食したとのこと。しかし、このあと食事開始直前の“おかわり受け渡し”が原因で、事故に至ってしまったということでした。その後、徐々に明かされていく詳しい状況や経緯の報道に、食物アレルギー反応の恐怖を知る専門医師、管理栄養士や栄養士、食物アレルギー児をもつ保護者の方々は、この「ヒヤリハット」を過ごしてしまった事故に、やりきれない気持ちを抱かれたのではないかと思います。

たかが「食」、されど「食」です。口にする物それ自体とそれに関わる行動は、人に良くも悪くも作用し、最悪の場合にはその生命をも奪ってしまうものです。

「食育の目標」と学校給食専門職の活用

平成 17 年食育基本法が施行、同時期に栄養教諭制度が創

設されてから、早 8 年目を迎えるところです。未だ、この法律に対する国民の認識度は低く、学校における栄養教諭必置については義務化されておられません。この中で平成 20 年 3 月に告示された新学習指導要領には「食育の推進」が明示されました。このことは、国が小中学校に勤める全ての教職員に「食育」を行うよう義務付けたことを意味するものです。文部科学省は、以下 6 つの食育目標を「食に関する指導の手引き」書に示しております。

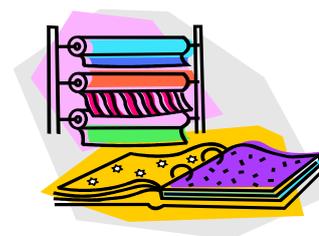
1. 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
2. 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
3. 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性などについて自ら判断できる能力を身に付ける。
4. 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をもつ。
5. 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
6. 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。

これらの目標達成に向け、児童生徒の食に関する知識や能力などを発達段階に応じて総合的に身に付けることができるよう、各教科などにおける個々の食に関する指導を継続的に配慮しつつ教科横断的な指導として関連付け学校全体で進めていくことが必要とされています。

先生方は、このような学校の全教職員に課せられた「食育の推進」をどのように捉えておられますか。おそらく、「食育」の必要性を強く感じているものの、内容の所々の部分に取り組みにくさを感じられているのではないかと推察いたします。であるとするならば、どうぞ身近に存在する「食」の専門職者に声を掛けてください。目標達成に向けて、他教職員とともに栄養教諭や学校栄養職員と連携し、「食育」に臨んでください。そして「食」は「生命」・「人間形成」に直結するものであることを今一度、肝に銘じ意識を高めていただきたく、合わせてお願い申し上げます。

人間らしい未来の大人たちを今、育てられるお一人おひとりの先生方と各学校のさらなる「食育」の取り組みに期待しております。

教材情報



渡邊辰五郎考案の雛形の復元を通してみた辰五郎の教育・教育観

服飾美術学科教授 山田民子

校祖渡邊辰五郎先生の雛形教育は、画期的な裁縫教授法として教育界の注目を集めました。明治から昭和にかけて本学の教育課程の中で行われたもので、本学の博物館に収蔵されている雛形の2290点が、教科書や製作用具61点とともに、平成12年12月27日に国の重要有形民俗文化財に指定されました。

このたび、明治38年に製作された『改良服』と大正6年に製作された『男女の水着』の復元を行いました。これらの復元を通して辰五郎先生の女性に対する教育の熱意を感じることができました。雛形の完成度の高さ、種類の多さから雛形の製作が、技術・知識の習得だけでなく、日本の女性の生活・生き方を変えるための教育であったことが見て取れました。明治14年に和洋裁縫伝習所を創立されましたが、明治15年には衣服改良に着手し、明治19年には『衣服改良会』を組織したとのこと。設立した目的は、いかにして和服を機能化させるかという点にありました。着物は、子供を含めた女性の日常着でしたが、西洋の衣服と比較すると、着物には弊害が多くありこの弊害をなくそうと考えていたようです。弊害として考えられたことは、1. 袖の重さ 2. 裾の重さ 3. 帯の幅が広くて重いこと 4. 細紐の多いこと 6. 履物の重いこと 6. 髪飾りの重いこと 等をあげ着用上の問題点を指摘しています。これらは、いずれも体の運動を妨げ、体の発育を障害するものであるとしています。西洋の服装を我が国の風俗に合わせ、その背景の中で機能性を考えながら審美性を壊さないように衣服の改良を図ったようです。洋服の機能性を認めながらも保守的な日本の女性にいかにして受け入れてもらえるかということを考えていたようです。子供服に洋装をいち早く取り入れて子供の健康を守ることの必要性を訴えていた医師の山根氏も改良服推進委員の1人でありましたが、辰五郎先生においても子供服の雛形の多さから、早い時期に子供服を導入していたことが理解できました。

日本女性の生活・生き方は女性自らで変えていく必要があると考えていたようです。

裁縫教育を学校教育の中に取り入れたことによって女性の就学率を高めたこと、さらには、教育者を育てることによって多くの女性の地位向上・自主自律を図ったものと考えられました。

水着は、セーラーカラーのもので男子用は、上下ひと続きの形、女子用は、その上にオーバースカートを縫い付けてありキャラコや天竺で作成されていました。明治時代に『海水浴は、健康増進に効果的』という欧米の知識と習慣がもたらされ、明治後期に各地に海水浴場が開かれると西洋式の海水浴着も着用されるようになりました。平成22年大磯町郷土資料館 夏の企画展 東京中のしゃれた奴らがやってきた！ 『元祖海水浴場・大磯』展に展示する明治時代の海水浴着を探していたところ東京家政大学の博物館にこの雛形があることを知り実物大の製作を求められたということです。このように辰五郎先生は、社会の動きをいち早くとらえ教材に用いていたということがわかります。

いつの時代でも、『社会のニーズに合った教育』は求められるものですが、現在ファッション教育に求められているものの1つに『商品価値のある物創り』があります。大学での学びによって身につけた技術や能力の可能性や意義を、実社会の中で実践的に試すということが必要とされます。このような視点に立ち、『アパレル生産実習Ⅰ』の授業を中心とする関連の科目の授業で製作したものを、十条コレクション HANDMADE SHOPを開催し商品としての販売までを体験する場を設けています。今年で3回目になりますが、十条銀座商店街と北区の協賛をいただき産学官のコラボレーションという形で開催しています。十条銀座商店街の活性化に協力するとともに学生の学研意識向上と大学の知名度向上につながることを目的として行っています。

教 育 時 流



教員養成教育推進室室長 青木幸子教授

近年の教員養成・教員免許制度改革の方向性は、“実践的指導力”を軸に政策が展開されています。その具体的政策の一つとして、2010（平成22）年度入学生より「教職実践演習」が導入されました。従来の「総合演習」に替わる科目として位置づけられています。この科目は、養成段階において教員として必要とされる最低限の基礎的・基本的な資質能力を習得することを目的としています。そのため、最終学年の後期に履修すること、教職課程履修者には1年生から各自の学修履歴である「履修カルテ」の作成が義務づけられました。

本学では、学生がオンラインで「履修カルテ」を作成できるよう「教職eポートフォリオ」の運用を2010年度より開始しました。そして、2012（平成24）年の春、短大の第一期生を送りだし、夏には学部の第一期生を対象に教職eポートフォリオの効果と課題について把握するため中間調査を実施しました。

実践的指導力との関係について、短大生の意見と学部生の調査結果の一部を紹介します。

短大生は、この科目を受講することで、教員になることへの自覚と使命感が強くなった、自分の資質能力不足を痛感した、教育現場の課題について認識を新たにしたりなど、教育現場の実情と教員の役割についてより深く理解することができたようです。

この科目の目的の趣旨から、本学では教育委員会や

附属学校と連携を図り、少人数のグループワークを主体とした演習を展開しています。オムニバス形式で実施される授業内容を、個人の中でどれだけネットワーク化を図るか、何に気づき、何を考え、どう課題解決の方策を立案していくのか、そのプロセスを辿ることが養成段階における実践的指導力の基礎であり、基本的手続きであると考えます。何かができるようになることが目的ではありません。

学部生は、まだこの科目を受講していません。2年間の学修履歴を踏まえて、見られた変化は大よそ次のようなものでした。

教職eポートフォリオの目的や入力内容については概ね理解しているが、肝心の「教職実践演習」との関係については理解不足であること、期限を守って入力しているが記入漏れが目立つこと、eポートフォリオ作成の効果として学修の振り返りと学修目標の設定を関連づけて取り組んでいることなどが明らかになりました。しかし、もう一つ大きな変化は、学生が教職eポートフォリオを作成することで自分自身を見つめ直す契機としていることです。それは、受動的な学びから主体的な学びへの転換を予感させます。義務としてのポートフォリオの作成が、主体的な“やる気”を引き出す、まさに相乗効果です。さらに、2年後の卒業年度にこの相乗効果が具体的な数値となって、また意識の変化となって表れることを私は期待しています。

お知らせ

第21回（平成25年度）教員対象講習会

教員対象講習会は現職の教員を対象に「今、教育現場で活用できる内容」を提供し続けていきたいというコンセプトのもと実施しています。昨年、開催回数は20回を数え、7講座286人の参加がありました。

今年度の開催は平成25年8月6日（火）から9日（金）の4日間を予定しています。6月には講座内容等詳細をお知らせいたします。

本学卒業生1都16県の高等学校、過年度参加者に通知し、広く参加をよびかけています。

緑育会事務局からのお知らせ

狭山校舎（1号館）



「東京家政大学狭山校舎に関する新情報」

緑育会会員の皆様に東京家政大学狭山校舎に関する新情報をお届けします。昭和61年4月に西武池袋線稲荷山公園駅から徒歩3分の地に英語英文学科と心理教育学科の2学科からなる東京家政大学文学部が設置されました。爾来、23年間にわたり、多くの有能な人材を輩出して参りましたが、交通網の変化や大学設置審の新基準やら、その他、世の中の変化に伴い、文学部も平成21年4月に板橋校舎に移転し、一つのキャンパスに統合されました。以来、4年あまりが経過いたしました。その間、狭山校舎管理部のもと、人間文化研究所と地域連携協力推進センターの2部署やサークル活動でグラウンドや体育館を使用する学生を除き、狭山校舎で学ぶ学生がいなくなりました。

狭山校舎（図書館棟）



しかしこの度、平成16年から10年あまりの間、狭山キャンパス活性化プロジェクト会議、狭山キャンパス再開発検討委員会、狭山キャンパス利用計画調査委員会など数々の委員会での検討・審議を重ねた結果、平成23年度に狭山キャンパス事業計画策定室が設置され、狭山キャンパスに2学部を設置する計画が浮上しました。平成26年度には「看護学部看護学科」（仮称）と「子ども臨床教育学部子ども臨床教育学科」（仮称）の2学部2学科の新設学部を設置することが決定されました。この2学部2学科は平成26年4月に設置予定（構想中）ですが、2学部とも東京家政大学がナースリー、幼稚園、中学・高等学校、短大・大学・大学院と幼児から成人までを教育する機関であることを考えると、とてもふさわしい新設学部となると思われます。命の誕生から老いまでを視野に入れた看護学部と乳幼児から障害児まで子ども一人一人の可能性を広げられる保育者養成と東京家政大学ならではの看護学部となります。卒業後の活躍分野としては、看護学部看護学科の場合、資格として看護師資格、保健師資格、助産婦資格などが取れますので、病院や診療所など様々な医療分野、訪問看護ステーション、老人保健施設、老人福祉施設などの地域・在宅分野や保健所・市町村保健センター、学校、企業に就職ができます。また子ども臨床学部子ども臨床学科の場合は取得できる資格として保育士資格、幼稚園教諭、特別支援学校教諭1種資格などが取れるため、就職先としては幼稚園を始めとして、保育所、特別支援学校幼稚部、乳児院、児童厚生施設、母子生活支援施設、児童養護施設、病院、幼児教育関連企業などになります。5年ぶりに狭山市・入間市などの地域貢献もしっかり出来ることとなり、再び狭山キャンパスに若人が集う新たな学びの場が復活します。！乞うご期待！

会員皆様のご支援をよろしくお願いたします。

1. 緑育会のホームページでの閲覧方法について

- ① 東京家政大学のホームページを開き「卒業生の方」をクリックします。
- ② 「緑窓教育会（緑育会）」をクリックしてください。

（生活信条の碑）

2. 連絡先

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
渡辺学園プロジェクト推進室（緑育会事務局）
電話番号：03-3961-0084
FAX 番号：03-3962-7135
Eメール：ryokuiku@tokyo-kasei.ac.jp

